

# 令和4年度 戸祭小学校 学校評価書

## 1 教育目標（目指す児童像含む）

- ＜基本目標＞ 人間尊重の精神を基盤とし、自ら考え、正しく判断し、思いやりをもって実践できる、心豊かでたくましい戸祭の子の育成を図る。
- ＜具体目標＞（目指す子ども像）
- ・ 体力と気力あるたくましい子ども
  - ・ 進んで学び深く考える子ども
  - ・ 心豊かで礼儀正しい子ども
  - ・ 最後までやりぬく子ども
- ＜合言葉＞ 『けじめ がんばり 思いやり』

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ＜目指す学校像＞
- (1) 児童が自立と共生を果たし、未来をたくましく生き抜くことができるよう、教育目標達成に向けた指導を果敢に展開する。
  - (2) 教職員が専門性とチーム力を磨き続けることにより、児童・保護者・地域からの信頼が得られる学校づくりを進める。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) すべての児童が安心して活力ある学校生活が送れるよう、本校の合言葉「けじめ がんばり 思いやり」の観点から児童の発達・成長に資する取組の充実を図る。
- (2) 「分かった」「できた」「感動した」体験の積み重ねにより、児童の自己肯定感や豊かな心を育み、将来への展望が培われるよう、教育活動の質を高め、認め励ます教育を推進する。
- (3) 児童一人一人の人権の保障と、教育的ニーズを踏まえた適切な指導により、児童・保護者との信頼関係を基盤とした学校づくりを進める。
- (4) 教職員の創意工夫ある実践を奨励するとともに、校務の重点化・焦点化を推進し、職務遂行能力の一層の向上と、児童と向き合う時間の充実を図る。

〔星が丘地域学校園教育ビジョン〕

未来を見つめ、学び続ける力の育成 ～星が丘地域学校園の学校文化を築くことを通して～

## 4 教育課程編成の方針

- ・ 児童に「生きる力」の基盤となる知的能力を十分に身に付けさせるよう編成する。
- ・ 児童一人一人が生きがいを感じ、ゆとりがある充実した学校生活の中で、「豊かな心」を育成するため、特色ある学校づくりを推進するよう編成する。
- ・ 「健康・体力」の増進により、最後までやりぬく子どもを育成するよう編成する。
- ・ 「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健康・体力の育成」を支える土台の「研修」「学年学級経営」を工夫・充実するとともに、更なる推進が図れるように編成する。

## 5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

### 【学 校 運 営】

- ・ 校内研修の充実による指導力（授業力・学級経営力等）向上と同僚性の強化
- ・ G I G Aスクール構想実現に向けた取組の推進
- ・ 保護者、地域との積極的な協働による開かれた学校づくり
- ・ 星が丘地域学校園教育ビジョンに基づく共通実践の推進
- ・ 質の高い教育活動を持続的に行うための職務内容の改善と遂行の効率化

### 【学 習 指 導】

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」を目指す授業の実践と改善
- ・ 個に応じた多様な学びを支援する取組の推進（ICTの積極活用、特別支援教育の充実等）
- ・ 高学年教科担任制の実践による教科指導の充実
- ・ 家庭学習と読書（家読）の習慣化

### 【児 童 生 徒 指 導】

- ・ 道徳科を中核とした「心の教育」の推進
- ・ 自己有用感を育む場と認め励ます指導の充実
- ・ いじめや不登校を生まない温かい学校・学級風土の醸成
- ・ 学級活動や児童会活動における自治的活動の推進

### 【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・ 教科体育の充実等による体力向上
- ・ 望ましい食習慣の形成と食に対する感謝の心の育成
- ・ 健康を自己管理する能力の育成
- ・ 学校内外での安全意識の向上と危険回避能力の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価 上段 令和3年度 中談 令和4年度 下段 令和4年度市平均																
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。  【数値指標】 児童肯定的回答 80%以上 教職員肯定的回答 85%以上	1 「主体的・対話的で深い学び」を目指す授業 ・見通しがもてる「めあて」の提示 ・学び合いを中核とした授業展開 ・個に応じた指導の充実 ・発問や板書の工夫 ・ICTの効果的な活用 ・学びをまとめ、振り返る活動の充実 2 学びに向かう態度の育成 ・「よい子のきまり」に基づく学習態度の指導 ・家庭学習の習慣化を図る指導と啓発、家庭との連携の強化	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>94.7</td><td>89.1</td><td></td><td>90.1</td></tr><tr><td>100.0</td><td>91.5</td><td></td><td>94.5</td></tr><tr><td>97.0</td><td>90.8</td><td></td><td>93.7</td></tr></table> ・教職員・児童ともに数値指標を上回り、昨年度の肯定的回答も上回った。  【次年度の方針】 ・児童が学習の見通しをもつことができるような「めあて」の提示とともに、「めあて」に即したまとめと振り返りを充実させ、各時間での学習内容の定着や達成感を味わうことができるような授業展開を行う。 ・家庭学習強化週間の取組を通し、家庭学習の方法について、具体的に示し、家庭との連携を強める。	教職員	保護者	地域	児童	94.7	89.1		90.1	100.0	91.5		94.5	97.0	90.8		93.7
	教職員	保護者	地域	児童																
	94.7	89.1		90.1																
100.0	91.5		94.5																	
97.0	90.8		93.7																	
A 2 児童は、思いやりの心をもっている。  【数値指標】 児童肯定的回答 90%以上 教職員肯定的回答 85%以上	1 あらゆる場面での心の教育の推進 ・本校の合言葉「けじめ がんばり <u>思いやり</u> 」の周知の徹底 ・毎月の「ありがとうの日」における感謝の気持ちを伝え合う活動の実施 ・心温まる言葉による学年だよりへの掲載 ・師弟同行を基本とする、他者の気持ちに配慮した言葉かけの実践 ・異学年交流の場を生かした、思いやりの心の醸成と場に応じた言葉遣いの奨励 2 幼稚園保育園、聾学校との交流活動と、各特別支援学校との居住地校交流の実施 3 人権教育の推進 ・道徳科や各教科の授業における指導 ・日常生活における人権意識の高揚を図る指導 ・学級経営等における教職員の率先垂範 ・人権集会の実施	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>97.4</td><td>88.1</td><td>100.0</td><td>90.6</td></tr><tr><td>87.9</td><td>93.7</td><td>100.0</td><td>93.1</td></tr><tr><td>97.2</td><td>94.6</td><td>97.4</td><td>92.4</td></tr></table> ・児童の肯定的回答は、昨年を2ポイント以上上回った。  【次年度の方針】 ・思いやりのある行いについて、教師が紹介したり友達と発表し合ったりする時間を設け、思いやりの心を広げていく。 ・異学年との交流の場を生かして、思いやりの心を醸成する。 ・場に応じた言葉遣いや、名前の呼び方等を指導する。	教職員	保護者	地域	児童	97.4	88.1	100.0	90.6	87.9	93.7	100.0	93.1	97.2	94.6	97.4	92.4	
教職員	保護者	地域	児童																	
97.4	88.1	100.0	90.6																	
87.9	93.7	100.0	93.1																	
97.2	94.6	97.4	92.4																	
A 3 児童は、きまりやマナーを守って生活をしている。  【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上	1 基本的生活習慣と規範意識に係る指導 ・「戸祭小良い子のきまり」と「戸祭小ナビ」に基づく指導の徹底 ・本校の合言葉「けじめ がんばり <u>思いやり</u> 」の周知の徹底 2 生活目標の設定と評価 ・帰りの会での振り返り（児童相互の認め合い）の実施	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>84.2</td><td>91.1</td><td>100.0</td><td>83.4</td></tr><tr><td>81.8</td><td>92.7</td><td>100.0</td><td>86.9</td></tr><tr><td>93.3</td><td>94.0</td><td>97.8</td><td>89.4</td></tr></table> ・児童は、数値指標や昨年度を上回った。	教職員	保護者	地域	児童	84.2	91.1	100.0	83.4	81.8	92.7	100.0	86.9	93.3	94.0	97.8	89.4	
教職員	保護者	地域	児童																	
84.2	91.1	100.0	83.4																	
81.8	92.7	100.0	86.9																	
93.3	94.0	97.8	89.4																	

目 指 す 児 童 の 姿	教職員肯定的回答 85%以上	<ul style="list-style-type: none"><li>・教職員による週番活動の実施による点検</li><li>・給食時の放送での周知と昼休み等の校内巡回</li></ul>	【次年度の方針】 <ul style="list-style-type: none"><li>・日常生活や道徳科の授業など、あらゆる教育活動の場でできまりやマナーを守って生活することの大切さを指導する。</li></ul>																
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。  【数値指標】 地域肯定回答 85%以上 教職員肯定的回答 85%以上	1 児童会企画委員会による朝のあいさつ運動の実施（週2回、昇降口と教室前にて） <ul style="list-style-type: none"><li>・下学年も参加可能なあいさつ運動の展開の工夫</li></ul> 2 中学校と連携した合同でのあいさつ運動3 授業や集会時の語先後礼のあいさつ指導4 教職員による率先垂範5 児童相互や来客、登下校時の見守り等でお世話になっている人などへのあいさつ指導の継続	B  【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>73.7</td><td>81.5</td><td>100.0</td><td>92.5</td></tr><tr><td>69.7</td><td>83.6</td><td>90.9</td><td>94.5</td></tr><tr><td>88.8</td><td>84.8</td><td>94.8</td><td>94.4</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none"><li>・教職員・地域ともに昨年度を下回り、教職員は数値指標も下回った。</li></ul> 【次年度の方針】 <ul style="list-style-type: none"><li>・自分から進んであいさつすること、あいさつされたら返すことの両面から指導する。</li><li>・各学級でのあいさつの実践に積極的に取り組む。</li></ul>	教職員	保護者	地域	児童	73.7	81.5	100.0	92.5	69.7	83.6	90.9	94.5	88.8	84.8	94.8	94.4
	教職員	保護者	地域	児童															
	73.7	81.5	100.0	92.5															
69.7	83.6	90.9	94.5																
88.8	84.8	94.8	94.4																
A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。  【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 教職員肯定的回答 85%以上 保護者肯定的回答 80%以上	1 目標を設定して取り組ませる指導の充実 <ul style="list-style-type: none"><li>・学期始め等に学習・生活目標を立てる指導</li><li>・授業等における児童が達成可能な課題の提示</li><li>・結果だけでなく途中の過程も含め、認め励ます指導の充実</li></ul> ・本校の合言葉「けじめ <u>がんばり</u> 思いやり」の周知の徹底 <ul style="list-style-type: none"><li>・家庭での学習時間の目安の設定と自主学習ノートの点検</li><li>・体育における検定カードの活用</li><li>・児童が、スモールステップで自己の成長を確認できる場の設定</li></ul>	B  【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>84.2</td><td>77.2</td><td></td><td>88.1</td></tr><tr><td>84.8</td><td>78.1</td><td></td><td>86.9</td></tr><tr><td>93.0</td><td>78.2</td><td></td><td>89.8</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none"><li>・教職員の肯定的回答はほぼ数値指標と同様だが、市の平均を下回った。</li></ul> 【次年度の方針】 <ul style="list-style-type: none"><li>・毎日の授業の中で達成した喜びを味わわせ、大きな目標につなげる。</li><li>・様々な活動において頑張る姿を認め合うことで自己肯定感を高めるとともに、目標達成までの過程を認め励ます指導の充実を図る。</li><li>・達成感が味わえるような目標を考えさせ、検定カードや自主学習の取組につなげる。</li></ul>	教職員	保護者	地域	児童	84.2	77.2		88.1	84.8	78.1		86.9	93.0	78.2		89.8	
教職員	保護者	地域	児童																
84.2	77.2		88.1																
84.8	78.1		86.9																
93.0	78.2		89.8																
A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。  【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 教職員肯定的回答 85%以上	1 運動の習慣化を図る指導の充実 <ul style="list-style-type: none"><li>・外遊びの奨励</li><li>・教科体育の指導の充実</li></ul> 2 望ましい食習慣を図る指導の充実 <ul style="list-style-type: none"><li>・集中して食べるためのもぐもぐタイムの徹底</li><li>・食事マナーの指導</li><li>・お弁当の日の実施</li></ul> 3 健康的な生活習慣づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"><li>・教室の換気やうがい手洗いの徹底</li><li>・新しい生活様式の実践</li><li>・家庭での実践も含めた歯磨きの励行</li></ul> 4 安全教育の強化 <ul style="list-style-type: none"><li>・登下校指導の実施（月2回ずつ）</li><li>・校内生活に関する指導（特に雨天時）</li></ul>	A  【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>94.7</td><td>91.2</td><td>100.0</td><td>92.4</td></tr><tr><td>81.8</td><td>91.0</td><td>100.0</td><td>93.6</td></tr><tr><td>95.6</td><td>91.7</td><td>95.6</td><td>94.0</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童は昨年同様であったが、教職員の肯定的回答が昨年を大きく下回った。</li></ul> 【次年度の方針】 <ul style="list-style-type: none"><li>・手洗いについては、限りがある洗い場を各学年で平等に使えるよう使用場所を分担し、児童が取り組みやすい環境を確保する。</li><li>・歯磨き指導については、自主的な取組を各担任から声掛けし、1年生の歯の染め出しを実施して児童の歯磨きへの意欲を高める。</li></ul>	教職員	保護者	地域	児童	94.7	91.2	100.0	92.4	81.8	91.0	100.0	93.6	95.6	91.7	95.6	94.0	
教職員	保護者	地域	児童																
94.7	91.2	100.0	92.4																
81.8	91.0	100.0	93.6																
95.6	91.7	95.6	94.0																

目 指 す 児 童 の 姿		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 昼休みの遊び方のきまりの指導</li><li>・ 交通安全教室や自転車免許事業の実施</li><li>・ 災害への備えと適切な行動習得のための多様な避難訓練の実施</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学級活動や道徳の時間における指導と合わせて、児童が定期的に自分の生活を振り返る機会を設け、安全に対する意識付けを図る。</li></ul>																
	A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。  【数値指標】 児童肯定的回答 80%以上 教職員肯定的評価 85%以上	<div>1 「宮・未来キャリア教育」年間指導計画に基づく指導<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学級活動等での「宮・未来キャリア・パスポート」の活用・実施</li></ul></div> <div>2 道徳科や各教科等での校外学習や出前授業等による社会貢献への意識を高める指導<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各種事業所での体験活動</li><li>・ 様々な職業人をゲストティーチャーとして招くキャリア教育の授業</li><li>・ 二分の一成人式の実施</li></ul></div> <div>3 児童会の各委員会、学級会の活性化<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各委員会活動等による自治的活動の推進</li></ul></div>	B	<div>【達成状況】<table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>84.2</td><td>77.2</td><td></td><td>88.1</td></tr><tr><td>84.8</td><td>78.1</td><td></td><td>86.9</td></tr><tr><td>93.0</td><td>78.2</td><td></td><td>89.8</td></tr></table></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 教職員の肯定的回答はほぼ数値指標と同様だが、市の平均を下回った。</li></ul> <div>【次年度の方針】</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・ キャリアパスポートの更なる活用を目指す。</li><li>・ 1, 2年生の生活科では、地域の方が挨拶や地域のための清掃等をしていることなどに気付くことができるようにする。4年総合では、ゲストティーチャーを迎えて、キャリア教育を深めていく。</li><li>・ 各学級で、係活動や当番活動が活発にできるよう指導していく。</li></ul>	教職員	保護者	地域	児童	84.2	77.2		88.1	84.8	78.1		86.9	93.0	78.2		89.8
	教職員	保護者	地域	児童																
	84.2	77.2		88.1																
84.8	78.1		86.9																	
93.0	78.2		89.8																	
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。  【数値指標】 児童肯定的回答 80%以上 教職員肯定的評価 80%以上	<div>1 外国語活動の授業の充実<ul style="list-style-type: none"><li>・ 児童の発達の段階に応じた活動や話題の提示</li><li>・ 十分な音声インプットの確保</li></ul></div> <div>2 英語専科教員やALTとの授業外の交流の実施<ul style="list-style-type: none"><li>・ 昼休み等における交流（交流給食削除）</li><li>・ 学校行事へのALTの参加</li><li>・ 英語や諸外国に関する掲示コーナーの作成</li></ul></div>	A	<div>【達成状況】<table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>94.7</td><td></td><td></td><td>84.2</td></tr><tr><td>87.9</td><td></td><td></td><td>90.8</td></tr><tr><td>93.2</td><td></td><td></td><td>90.0</td></tr></table></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 児童は昨年度を5ポイント以上上回ったが、教職員は6ポイント以上下回った。</li></ul> <div>【次年度の方針】</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 本校は外国語科の専科教諭もあり、計画的に活動がなされているため、今年度の取組を引き続き実践していく。</li><li>・ ALT との交流の機会については、休み時間等を活用し、更なる充実を目指す。</li></ul>	教職員	保護者	地域	児童	94.7			84.2	87.9			90.8	93.2			90.0	
教職員	保護者	地域	児童																	
94.7			84.2																	
87.9			90.8																	
93.2			90.0																	
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。  【数値指標】 児童肯定的回答 80%以上	<div>1 宇都宮市の良さを学ぶ学習の充実<ul style="list-style-type: none"><li>・ 社会科の授業等での宇都宮学の指導</li><li>・ 校外学習による直接的な見聞</li><li>・ 地域の人たちとの交流活動の実施</li><li>・ 総合的な学習の時間における「地域の方と仲良くなろう」等の実施</li><li>・ 地域の先人を扱った道徳科の授業</li><li>・ 郷土の行事食等による給食の実施</li></ul></div>	B	<div>【達成状況】<table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>78.9</td><td>68.1</td><td></td><td>85.0</td></tr><tr><td>63.6</td><td>68.1</td><td></td><td>84.9</td></tr><tr><td>85.8</td><td>68.3</td><td></td><td>85.8</td></tr></table></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 児童の肯定的回答は、数値指標を上回った。</li></ul> <div>【次年度の方針】</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 着実に宇都宮学等が浸透していると考えられる。さらに、「宇都宮学」の指導計画のもと、各学年において宇都宮市の良さを学ぶ学習の充実を図る。</li></ul>	教職員	保護者	地域	児童	78.9	68.1		85.0	63.6	68.1		84.9	85.8	68.3		85.8	
教職員	保護者	地域	児童																	
78.9	68.1		85.0																	
63.6	68.1		84.9																	
85.8	68.3		85.8																	

<p>目 指 す 児 童 の 姿</p>	<p>A10 児童は、ICT 機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 児童肯定的回答 80%以上 教職員肯定的回答 85%以上</p>	<p>1 ICT 機器や図書等を活用した教育活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン（タブレット）や50インチディスプレイ等を活用した授業の実施</li> <li>・学校図書館の利用指導の充実と学習情報センターとしての図書館利用の推進</li> <li>・市立図書館と連携した教育図書の整備充実</li> </ul> <p>2 プログラミング的思考と情報活用能力を育成する指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミングを取り入れた授業の充実</li> <li>・低学年からの系統的な授業の実践</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>92.1</td><td>85.5</td><td></td><td>86.5</td></tr> <tr> <td>97.0</td><td>82.2</td><td></td><td>87.9</td></tr> <tr> <td>98.4</td><td>83.5</td><td></td><td>90.7</td></tr> </tbody> </table> <p>・教職員、児童ともに、肯定的回答は数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて ICT 機器や図書等を効果的に活用するなど、今後も情報活用能力を高める学習効果の高い活動を充実させていく。</li> <li>・市立図書館の積極的利用を行う。</li> <li>・学習やコミュニケーションツールとしての1人1台端末のアプリの活用を高め、授業に生かしていく。</li> <li>・プログラミング的思考と情報活用能力の育成については、宇都宮市の指導計画のもと、各学年の授業実践や児童の反応を共有し、系統的な指導ができるようにしていく。</li> </ul>	教職員	保護者	地域	児童	92.1	85.5		86.5	97.0	82.2		87.9	98.4	83.5		90.7
教職員	保護者	地域	児童																
92.1	85.5		86.5																
97.0	82.2		87.9																
98.4	83.5		90.7																
	<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 児童肯定的回答 90%以上</p>	<p>1 高齢者とふれあう機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間「地域の方と仲良くなろう」で感謝の気持ちを伝える手紙やプレゼント作りの実施</li> <li>・運動会等への招待</li> </ul> <p>2 人権教育の推進と豊かな心を育む指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育年間指導計画に基づく指導</li> <li>・本校の合言葉「はじめ がんばり <u>思いやり</u>」の周知の徹底</li> <li>・道徳科の授業の充実</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.4</td><td>88.1</td><td>100.0</td><td>90.6</td></tr> <tr> <td>87.9</td><td>93.7</td><td>100.0</td><td>93.1</td></tr> <tr> <td>97.2</td><td>94.6</td><td>97.4</td><td>92.4</td></tr> </tbody> </table> <p>・児童の肯定的回答は、昨年度を上回り、数値指標も達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況を見極め、内容を精選しながら今年度の取組を継続していく。</li> <li>・引き続き、人権教育や道徳科の授業での取組も充実を図る。</li> </ul>	教職員	保護者	地域	児童	97.4	88.1	100.0	90.6	87.9	93.7	100.0	93.1	97.2	94.6	97.4	92.4
教職員	保護者	地域	児童																
97.4	88.1	100.0	90.6																
87.9	93.7	100.0	93.1																
97.2	94.6	97.4	92.4																
	<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 90%以上</p>	<p>1 持続可能な社会に関する学習機会の設定と環境教育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間「めざせ！ エコマスター」や社会科、家庭科等における指導</li> <li>・道徳科「自然愛護」について考える授業の充実</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>57.9</td><td></td><td></td><td>85.2</td></tr> <tr> <td>57.9</td><td></td><td></td><td>86.9</td></tr> <tr> <td>78.0</td><td></td><td></td><td>88.6</td></tr> </tbody> </table> <p>・教職員の肯定的回答は数値指標を30ポイント以上下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数値指標の設定の再考（80%以上）を図る。</li> <li>・「みやエコスクール」を基に、教職員がごみの分別や片面印刷用紙の再利用、節電・節</li> </ul>	教職員	保護者	地域	児童	57.9			85.2	57.9			86.9	78.0			88.6
教職員	保護者	地域	児童																
57.9			85.2																
57.9			86.9																
78.0			88.6																

			<p>水等を率先垂範する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsについて、各教科等で理解を深めていく。</li> <li>・持続可能な社会のために、学校でできることを委員会活動などで話し合い実施していく。</li> </ul>																
	<p>B 1 児童は、自分のよさを自覚し、自身の存在に安心感と可能性を感じて生活している。</p> <p>【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上</p>	<p>1 児童の自己肯定感を高めるための教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童相互に認め合う機会の設定</li> <li>・担任だけでなく、全職員で認め励ます指導の実践</li> <li>・自己肯定感を高めるような道徳の授業の実施と情報交換</li> </ul>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>92.1</td><td>81.4</td><td>94.4</td><td>79.6</td></tr> <tr> <td>87.9</td><td>83.7</td><td>100.0</td><td>80.1</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>・教職員からの「褒める」「認める」声掛けや戸祭の子表彰を積極的に行った結果、児童肯定的回答はやや上がった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童相互に認め合う機会を増やすため、授業時間中の話し合い・発表、学級活動の中で互いのよい所を認め合うような活動を日常的に設けていく。</li> <li>・教職員間で道徳の授業を見合ったり情報交換したりすることで、指導力向上に努める。</li> </ul>	教職員	保護者	地域	児童	92.1	81.4	94.4	79.6	87.9	83.7	100.0	80.1				
教職員	保護者	地域	児童																
92.1	81.4	94.4	79.6																
87.9	83.7	100.0	80.1																
	<p>B 2 児童は、「ありがとう」の感謝の気持ちを相手に伝えることができる。</p> <p>【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上</p>	<p>1 感謝の気持ちを持ち、高め、伝えるための取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月10日の「ありがとうの日」の設定</li> <li>・投稿された「ありがとうカード」の教師による読み上げ発表（給食時の放送）</li> <li>・廊下壁面への「ありがとうカード」の掲示</li> <li>・教職員自身の率先垂範</li> <li>・異学年交流の場を活用した思いやりの心の醸成</li> </ul>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>92.1</td><td>86.7</td><td>100.0</td><td>91.6</td></tr> <tr> <td>97.0</td><td>90.8</td><td>100.0</td><td>91.7</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>・昨年度同様、児童の肯定的回答が数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度に引き続き、「ありがとうカード」の掲示や放送での読み上げを行い、児童の感謝の気持ちを育む。</li> <li>・なかよし班活動での異学年との交流を通して、異学年同士でも感謝の気持ちの醸成を図る。</li> </ul>	教職員	保護者	地域	児童	92.1	86.7	100.0	91.6	97.0	90.8	100.0	91.7				
教職員	保護者	地域	児童																
92.1	86.7	100.0	91.6																
97.0	90.8	100.0	91.7																
目指す学校の姿	<p>A 14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 児童肯定的回答 95%以上 保護者肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 いじめの予防の取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ問題に関する日常的な指導</li> <li>・いじめゼロポスターやいじめゼロ標語の実施</li> <li>・全校集会での校長講話や「いじめゼロ集会」「人権集会」の開催</li> <li>・いじめをテーマとした学級活動や道徳科の授業実施</li> </ul> <p>2 いじめの早期発見のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「友だちアンケート」「学校生活アンケート」の実施、「はあとポスト」「Q-U」の活用</li> <li>・教育相談の実施</li> <li>・いじめ等対策委員会の定期的実施と全校体制の支援の充実</li> </ul>	<p>A</p> <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100.0</td><td>78.2</td><td>100.0</td><td>96.3</td></tr> <tr> <td>97.0</td><td>80.9</td><td>100.0</td><td>98.9</td></tr> <tr> <td>99.4</td><td>82.8</td><td>96.6</td><td>97.6</td></tr> </tbody> </table> <p>・児童、保護者ともに数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童個人の思いや悩みを把握し、いじめの早期発見に努めるため「友達アンケート」と「学校生活アンケート」を継続して実施する。</li> <li>・児童会を中心とした「いじめゼロ集会」や「人権集会」、いじめゼロ標語の実施等が成</li> </ul>	教職員	保護者	地域	児童	100.0	78.2	100.0	96.3	97.0	80.9	100.0	98.9	99.4	82.8	96.6	97.6
教職員	保護者	地域	児童																
100.0	78.2	100.0	96.3																
97.0	80.9	100.0	98.9																
99.4	82.8	96.6	97.6																

	<p>3 いじめ問題等が生じた際の確実な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校いじめ防止基本方針に基づく対応</li> <li>・組織的かつ迅速な対応と家庭等との連携</li> </ul>		<p>果を上げているので、今後もこれらの取組を通して、いじめを許さない意識の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめをテーマとした学級活動や道徳の授業の中で、児童同士が互いに支え合える環境づくりに努める。</li> </ul>																
<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 児童肯定的回答 90%以上 保護者肯定的回答 90%以上</p>	<p>1 児童が居がいを感じられる学級の温かい雰囲気づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認め励ます指導</li> <li>・児童相互の認め合い、支え合い</li> </ul> <p>2 新たな不登校を生まないための早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「友だちアンケート」「学校生活アンケート」の実施、「はあとポスト」「Q-U」の活用、教育相談の実施</li> </ul> <p>3 個に応じた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校対策委員会や校内支援委員会の実施</li> <li>・当該児童や保護者との信頼関係に基づく電話連絡や家庭訪問の実施</li> <li>・保健室や図書室等における別室登校への対応など、段階的な支援の計画と適切な実施</li> <li>・SCや専門的機関との連携</li> <li>・デジタル機器を活用した当該児童や家庭との交流、連絡</li> </ul>	A	<p>【達成状況】</p> <table> <tr> <th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr> <tr> <td>100.0</td><td>83.4</td><td></td><td>95.7</td></tr> <tr> <td>100.0</td><td>86.8</td><td></td><td>97.0</td></tr> <tr> <td>99.2</td><td>90.4</td><td></td><td>96.4</td></tr> </table> <p>・児童の肯定的回答は数値指標を大きく上回った。保護者については昨年度を3ポイント以上上回ったが、数値指標には達していない。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席が続く児童に対する電話連絡や家庭訪問を行い、家庭との連携を強化する。</li> <li>・不登校対策委員会や校内支援委員会を実施し、不登校の未然防止に努める。またSCの活用や専門機関との連携により、不登校に関する情報を家庭に発信していく。</li> <li>・児童の実態に応じてデジタル機器を活用し、登校できなくても学校とつながれる環境づくりに努める。</li> </ul>	教職員	保護者	地域	児童	100.0	83.4		95.7	100.0	86.8		97.0	99.2	90.4		96.4
教職員	保護者	地域	児童																
100.0	83.4		95.7																
100.0	86.8		97.0																
99.2	90.4		96.4																
<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 外国人児童生徒等の支援体制の整備と適切な指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該児童や保護者との面談による実態の把握と支援のニーズに応じた対応</li> <li>・日本語指導講師と連携した日本語指導の実施</li> <li>・校内支援会議の実施と関係機関との連携</li> </ul>	B	<p>【達成状況】</p> <table> <tr> <th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr> <tr> <td>100.0</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>100.0</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>98.7</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の取組を引き続き継続していく。</li> </ul>	教職員	保護者	地域	児童	100.0				100.0				98.7			
教職員	保護者	地域	児童																
100.0																			
100.0																			
98.7																			
<p>A17 学校は活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 児童肯定的回答 90%以上 保護者肯定的回答 90%以上</p>	<p>1 活気ある学校づくりのための各種取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の課題に対する積極的な対応</li> <li>・認め励ます教育を中核とした指導と支援</li> <li>・児童会活動、行事、集会、学級活動、縦割り班活動の充実（啓発・広報活動の活性化）</li> <li>・各種たよりとホームページによる学校活動の情報発信</li> </ul> <p>2 教職員の率先垂範</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員自身の明るくいきいきとした姿</li> <li>・明るく活気のある職員室づくり</li> <li>・主要な校務分掌への若手教員の積極的登用</li> </ul>	B	<p>【達成状況】</p> <table> <tr> <th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr> <tr> <td>92.1</td><td>91.3</td><td>100.0</td><td>89.0</td></tr> <tr> <td>97.0</td><td>92.2</td><td>100.0</td><td>91.0</td></tr> <tr> <td>97.5</td><td>92.6</td><td>98.0</td><td>91.0</td></tr> </table> <p>・児童保護者ともに、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戸祭の子表彰や宮っ子表彰を生かした認め励ます教育を推進する。</li> <li>・縦割り班活動や児童会活動を充実させる。</li> <li>・教職員からの積極的な声かけやあいさつを継続していく。</li> </ul>	教職員	保護者	地域	児童	92.1	91.3	100.0	89.0	97.0	92.2	100.0	91.0	97.5	92.6	98.0	91.0
教職員	保護者	地域	児童																
92.1	91.3	100.0	89.0																
97.0	92.2	100.0	91.0																
97.5	92.6	98.0	91.0																

<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>児童肯定的回答 95%以上</p> <p>保護者肯定的回答 85%以上</p>	<p>1「主体的・対話的で深い学び」を目指す授業（A1再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・見通しがもてる「めあて」の提示</li><li>・学び合いを中核とした展開</li><li>・習熟度別学習など、個に応じた指導</li><li>・発問や板書の工夫</li><li>・ICTの効果的な活用</li><li>・学びをまとめ、振り返る活動の充実</li></ul> <p>2 学習内容の理解・定着を図る指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・個に応じた指導の充実</li><li>・各種学習シート等の活用</li><li>・家庭学習ノートの点検、良いノートの紹介</li></ul> <p>3 教職員の指導力向上</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一人一授業の実践と授業研究の実施</li><li>・自己目標シートにおける目標設定と目標管理</li></ul>	<p>【達成状況】</p> <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td>77.7</td><td></td><td>95.4</td></tr><tr><td>100.0</td><td>81.0</td><td></td><td>97.7</td></tr><tr><td>99.0</td><td>86.3</td><td></td><td>97.0</td></tr></table> <p>・保護者の肯定的回答は昨年より上昇したが、数値指標に達していない。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・「きめ細かな指導」の具体的なイメージが伝わるよう、学校だより等の各種たよりや学校HP等を活用し、積極的に取り組み状況を発信する。</p>	教職員	保護者	地域	児童	100.0	77.7		95.4	100.0	81.0		97.7	99.0	86.3		97.0
教職員	保護者	地域	児童															
100.0	77.7		95.4															
100.0	81.0		97.7															
99.0	86.3		97.0															
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>教職員肯定的回答 95%以上</p>	<p>1 多様な専門性を有する各種の学校スタッフの活用 (学校図書館司書・ALT・かがやきルーム指導員・スクールカウンセラー・特別支援教室担当・日本語指導講師・学校業務担当等)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校全体としての課題や各種教育活動への全職員による連携・協力した取組</li></ul>	<p>【達成状況】</p> <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>92.1</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>93.9</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>96.4</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>・数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・全職員による連携をさらに充実させるため、話し合いや活動の時間を確保する。</p>	教職員	保護者	地域	児童	92.1				93.9				96.4			
教職員	保護者	地域	児童															
92.1																		
93.9																		
96.4																		
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>教職員肯定的回答 85%以上</p>	<p>1 勤務時間や職務の効率化への意識の向上を図るための啓発</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会議等における職員への繰り返しの周知</li><li>・職務の優先順位の的確な判断に基づく計画的な職務遂行の促し</li><li>・付き合い残業の一掃</li></ul> <p>2 業務の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・作成文書の簡略化</li><li>・会議、研修等の勤務時間内の終了</li><li>・校内掲示板、学習情報システム、ポータルサイトの有効活用</li><li>・効率化とスリム化の視点からの職務や各種行事等の見直しと改革の奨励</li><li>・学校活動時間のスリム化を見通した日課の見直し</li></ul>	<p>【達成状況】</p> <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>76.3</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>72.7</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>82.4</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>・数値指標を下回るとともに、昨年度を大きく下回り、課題が見られる。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・仕事量の適正化、業務の効率化とスリム化を目指した方策について広く事例を集め、即効性のある改善を行う。</p> <p>・日課の見直しによる学校活動時間のスリム化を行う。</p>	教職員	保護者	地域	児童	76.3				72.7				82.4			
教職員	保護者	地域	児童															
76.3																		
72.7																		
82.4																		
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>保護者肯定的回答 90%以上</p>	<p>1 星が丘地域学校園教育ビジョンに基づく取組</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学び続ける児童の育成に向けた、児童の自己肯定感を高める指導の重視</li></ul> <p>2 小中連携の取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各部会、分科会の計画的実施</li><li>・小6児童の中学校訪問</li><li>・中学校教諭による算数と英語の乗り入れ授業</li></ul>	<p>【達成状況】</p> <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>86.8</td><td>81.0</td><td>94.7</td><td>78.4</td></tr><tr><td>84.8</td><td>81.5</td><td>100.0</td><td>87.5</td></tr><tr><td>93.9</td><td>78.9</td><td>95.0</td><td>84.1</td></tr></table> <p>・保護者は昨年と同様の肯定的回答で、数値指標に達しなかった。</p>	教職員	保護者	地域	児童	86.8	81.0	94.7	78.4	84.8	81.5	100.0	87.5	93.9	78.9	95.0	84.1
教職員	保護者	地域	児童															
86.8	81.0	94.7	78.4															
84.8	81.5	100.0	87.5															
93.9	78.9	95.0	84.1															



	<ul style="list-style-type: none"><li>・中1生徒に関する中学校側との情報交換</li><li>・養護教諭、事務職員、栄養教諭などの一人職の職員間の連携と相互支援</li><li>・各教科の授業づくりに係る合同研修の実施</li><li>・学校HPを活用した「小中一貫教育・地域学校園」の取組についての広報活動</li></ul>	<p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・数値指標の再考（85%以上）</li><li>・星が丘地域学校園での一人職の連携と相互支援を今後も充実させていく。</li><li>・HPや各種たより、さくら連絡網等を通して、小中一貫教育、地域学校園の取組に関する広報活動の充実を図る。</li></ul>																
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。	<p>1 戸祭小地域協議会を生かした地域と共にある学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童の安全確保や授業支援における学校支援ボランティアの積極的活用</li><li>・地域の安全点検活動への参加協力</li></ul> <p>2 地域の教育資源を活かした活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生活科や総合的な学習の時間等における、地域の店舗や事業所、地域人材を活用した学習活動の実施(校外学習、出前授業)</li><li>・幼稚園保育園、中学校、地域の高齢者、聾学校との交流活動の実施</li></ul>	B <p>【達成状況】</p> <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>94.7</td><td>82.1</td><td>100.0</td><td>85.2</td></tr><tr><td>90.9</td><td>85.9</td><td>100.0</td><td>86.2</td></tr><tr><td>98.1</td><td>88.0</td><td>96.1</td><td>90.7</td></tr></table> <p>・児童の肯定的回答は、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校支援ボランティアの活用をさらに充実させていく。</li><li>・地域の教育資源と状況に応じた交流ができるよう活動内容を見直し、可能なものを確実に実施する。</li></ul>	教職員	保護者	地域	児童	94.7	82.1	100.0	85.2	90.9	85.9	100.0	86.2	98.1	88.0	96.1	90.7
教職員	保護者	地域	児童															
94.7	82.1	100.0	85.2															
90.9	85.9	100.0	86.2															
98.1	88.0	96.1	90.7															
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。	<p>1 戸祭小地域協議会を生かした地域と共にある学校づくりの推進（A22再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童の安全確保や授業支援における学校支援ボランティアの積極的活用</li><li>・地域の安全点検活動への参加協力</li></ul> <p>2 地域の教育資源を活かした活動の実施（A22再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生活科や総合的な学習の時間等における、地域の店舗や事業所、地域人材を活用した学習活動の実施(校外学習、出前授業)</li><li>・幼稚園保育園、中学校、地域の高齢者、聾学校との交流活動の実施</li></ul> <p>3 保護者・PTAとの日常的な連携</p>	B <p>【達成状況】</p> <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>94.7</td><td>82.1</td><td>100.0</td><td>85.2</td></tr><tr><td>90.9</td><td>85.9</td><td>100.0</td><td>86.2</td></tr><tr><td>98.1</td><td>88.0</td><td>96.1</td><td>90.7</td></tr></table> <p>・児童の肯定的回答は、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校支援ボランティアの活用をさらに充実させていく。</li><li>・地域の教育資源と状況に応じた交流ができるよう活動内容を見直し、可能なものを確実に実施する。</li></ul>	教職員	保護者	地域	児童	94.7	82.1	100.0	85.2	90.9	85.9	100.0	86.2	98.1	88.0	96.1	90.7
教職員	保護者	地域	児童															
94.7	82.1	100.0	85.2															
90.9	85.9	100.0	86.2															
98.1	88.0	96.1	90.7															
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。	<p>1 施設整備の整備</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・迅速な修理修繕体制の確立</li><li>・安全点検の実施（毎月）</li><li>・安全点検による修繕箇所の即座の対応</li><li>・看板やポスター等による危険箇所の周知</li></ul>	B <p>【達成状況】</p> <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td>91.0</td><td>100.0</td><td></td></tr><tr><td>100.0</td><td>87.8</td><td>100.0</td><td></td></tr><tr><td>98.8</td><td>90.9</td><td>99.0</td><td></td></tr></table> <p>・保護者地域ともに、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安全点検の実施状況を学校HP等の広報手段を活用して積極的に公開していく。学年だよりの月間予定に安全点検実施日も入れ、学校の取組を広く周知する。</li></ul>	教職員	保護者	地域	児童	100.0	91.0	100.0		100.0	87.8	100.0		98.8	90.9	99.0	
教職員	保護者	地域	児童															
100.0	91.0	100.0																
100.0	87.8	100.0																
98.8	90.9	99.0																

			<p>・教職員の肯定的回答の割合が例年 100% のため、数値目標を見直す。</p>																
	<p>A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 児童肯定的回答 70%以上</p>	<p>1 I C T 機器の適切な管理と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 50 インチディスプレイ、パソコン、実物投影機、デジカメ等の整備と日常的な活用</li> <li>・ 効果的な活用に関する職員研修の充実</li> </ul> <p>2 読書センター及び学習情報センターとしての図書室の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育課程や地域の特性を考慮した図書購入</li> <li>・ 情報の探し方や使い方に関する日常的指導</li> <li>・ 新聞の購読と活用</li> <li>・ 図書館の図書や資料を用いた授業の実践</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>92.1</td><td>85.5</td><td></td><td>86.5</td></tr> <tr> <td>97.0</td><td>82.2</td><td></td><td>87.9</td></tr> <tr> <td>98.4</td><td>83.5</td><td></td><td>90.7</td></tr> </tbody> </table> <p>・児童は数値指標を上回り、昨年度よりさらになった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・実施状況を鑑み、次年度の数値指標を再考する。</p>	教職員	保護者	地域	児童	92.1	85.5		86.5	97.0	82.2		87.9	98.4	83.5		90.7
教職員	保護者	地域	児童																
92.1	85.5		86.5																
97.0	82.2		87.9																
98.4	83.5		90.7																
本校の特色・課題等	<p>B3 先生は、自分のよいところを見つけて、ほめてくれる。</p> <p>【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上</p>	<p>1 児童のよさや努力を認め励ます指導の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担任だけでなく全教職員による認め励ます指導の日常化</li> <li>・ 児童が相互に認め合う機会の設定</li> <li>・ 児童のよさや努力についての教職員相互の伝え合い</li> <li>・ 保護者への積極的な連絡</li> <li>・ 児童の作品（掲示物）への肯定的コメント</li> <li>・ 児童のよさや努力について、保護者や地域との共有を目指した学校HPの活用</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100.0</td><td>87.0</td><td>100.0</td><td>90.8</td></tr> <tr> <td>100.0</td><td>87.9</td><td>100.0</td><td>92.6</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>・児童の肯定的回答が昨年度や数値指数を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・児童の情報を職員間で共有し、担任以外の教職員からの称賛も担任を通して児童に伝えるなど、全職員で児童のよさや努力を認め励ます指導を継続して推進する。</p> <p>・教職員が児童のよさや努力の過程を具体的に称賛し、児童同士が互いのよさを認め合えるような学級経営を実践する。</p>	教職員	保護者	地域	児童	100.0	87.0	100.0	90.8	100.0	87.9	100.0	92.6				
教職員	保護者	地域	児童																
100.0	87.0	100.0	90.8																
100.0	87.9	100.0	92.6																
	<p>B4 学校は、安全面の危機管理に、高い意識をもって取り組んでいる</p> <p>【数値指標】 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 児童への安全指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月安全の日を決め、パワーポイント資料を活用した安全に関する話の実施</li> <li>・ 安全の日の学年だより等への掲載による啓発</li> <li>・ 登下校指導の月 2 回の実施</li> <li>・ 「ゴジ（ヨジ）ヘルパー」（5 時の帰宅・ヘルメット・防犯ブザー）を合言葉に日頃の指導</li> <li>・ 実践的な避難訓練の実施（予告なし訓練）</li> </ul> <p>2 保護者・地域の協力による見守り活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P T A による下校時の巡回活動</li> <li>・ 学校支援ボランティアによるプールの見守り</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.4</td><td>84.5</td><td>100.0</td><td>97.1</td></tr> <tr> <td>93.9</td><td>82.9</td><td>100.0</td><td>98.8</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>・数値指標には達しているが、保護者や教職員の肯定的回答は、昨年度を下回った。</p> <p>・学年だより等での「安全の日」の周知は未実施であった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・「安全の日」や学校での感染症対策の内容、避難訓練の実施状況を学校HPや学年だより、さくら連絡網等を通して、積極的に公開していく。</p> <p>・引渡し訓練を全学年実施し、万が一の際に備えるとともに、保護者が訓練の様子を直接見る機会を設ける。</p>	教職員	保護者	地域	児童	97.4	84.5	100.0	97.1	93.9	82.9	100.0	98.8				
教職員	保護者	地域	児童																
97.4	84.5	100.0	97.1																
93.9	82.9	100.0	98.8																

## 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

今年度いずれの評価者も数値的指標と同等以上を達成したものは、29項目中18項目であった。特に評価が高かったのは、A1「児童は進んで学習に取り組んでいる」、A17「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」、B2「児童は感謝の気持ちを相手に伝えることができる」で、いずれの評価者も90%以上が肯定的に回答していて、昨年度と比較しても同等以上の数値であった。本校が、今年度は主体的に考え行動する児童の育成や、同僚性を生かした教師自身の学び合いによる授業力・指導力の向上に取り組んできたことや、「けじめ・がんばり・おもしろい」の合言葉の下、児童を認め励まし自己有用感を育む指導の充実に努めてきたことなどが成果となって現れた結果であると考えられる。また、「ありがとうカード」を活用して他者への感謝の気持ちを表現する取組を定期的に奨励し、温かな学級・学校風土の醸成に努めてきたことや、「心の教育」の推進を行ってきたことなども要因となっていると考えられる。

反対に、数値目標に達しなかったり昨年度の肯定的回答を大きく下回ったりしたのは、A9「児童は、宇都宮の良さを知っている」、A12「児童は『持続可能な社会』に関心をもっている」である。宇都宮市の良さについては、「宇都宮学」の一層の指導の充実に努め、自分たちが住む宇都宮の良さを紹介したり児童自身に気付かせたりする活動を工夫することで、理解を深めていく必要がある。また、これから生きる児童自身が、未来を見据えて環境保全や平和の重要性を実感し、身近なところから自分たちにできることに前向きに取り組めるよう、主体的に学び社会課題について自ら考え行動できる児童の育成に努める必要もある。

今年度は、様々な学校生活において児童の自己肯定感を高める工夫を意識して指導してきたが、B1「児童は、自己肯定感をもって生活している」については、児童の肯定的回答は昨年度を0.5ポイント上回ったものの、依然として目標指数には達していない。今年度の取組状況を再分析し、教職員全体で指導の評価・改善を行い、自己肯定感のさらなる醸成を目指して取り組んでいきたい。

## 7 学校関係者評価

- ・A4「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」については肯定的回答が昨年を下回っているが、コロナウイルス感染症の影響もあってか、家の前を通る児童のみならず、街全体として以前とは様子が変化しているように感じる。まずは大人がしっかり範を示し、児童の意識を高める必要がある。
- ・A9「児童は、宇都宮の良さを知っている」については、学校で取り組んでいる指導内容について、保護者等に詳しく知らせる機会を設けてはどうか。
- ・B1「児童は、自分のよさを自覚し、自身の存在に安心感と可能性を感じて生活している」については、それぞれの児童に対し、些細なことであっても認め称賛する言葉かけを、教師を含め様々な立場の人が継続して行うことが必要であると考えられる。また、保護者も、自分の子どもに対しては全面的に認め励ます姿勢が大切である。周囲の大人のこうした取組を通して、困難に直面しても折れない児童を育成することができるのではないかな。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

今年度は、新型コロナウイルス感染症にも十分配慮しながら学校教育の在り方を工夫してきたことで、今まで中止・縮小してきた学校行事等を含め、学校の特色を生かした様々な教育活動にも少しずつ取り組めるようになってきている。学校の内外に児童や保護者・地域住民の笑顔が戻ってきてともに充実した時間を共有できたことは、学校としても大きな喜びである。

今後、感染症の終息状況によっては各種制限が撤廃されることも予想される。しかし、すべての学校での取組をコロナ以前に単純に戻すのではなく、この3年間の制限期間で得た教訓を生かし、実施の意義や児童への教育的効果等を十分考慮したり、今日的課題に対応するため新たな方針等を決定したりしたうえで、本校の取組を再編成していく時期にあると考えられる。次年度は、各項目それぞれの反省や検討事項を生かしながら、様々な取組を積極的に行い、児童・保護者・地域・教職員が一体となった安定した学校づくりに励んでいきたい。